

第 3 次安城市食育推進計画の総括

1 目標値達成状況

年度	評価区分	A 達成済	B 未達成 経過順調	C 未達成 要改善
2022(R4)年度	指標数	7	3	3
	割合 (%)	54%	23%	23%
2021(R3)年度	指標数	8	4	1
	割合 (%)	61%	31%	8%

2 A評価となった指標の総括

※朝食の欠食割合、地元農産物を意識して購入する人の割合は、項目ごとに複数の評価があるため、別途総括。

評価区分	指標名	総括
A	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスに配慮した食生活を送っている人の割合 ・食べ残しをしないように意識している人の割合 ・食育に関心がある人の割合 ・郷土料理に対する認知度 ・食育推進団体による食育講座の参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に事業を行うことが出来たため、目標値を達成することができた。

3 B評価となった指標の総括

評価区分	指標名	総括
B	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業や農業体験などを行ったことがある人の割合 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症対策の規制緩和によりイベントが復活したこともあり、数値は上昇した。引き続きPRに努める。

評価区分	指標名	総括
B	・おうちでごはんの日（食育の日）の認知度	・今後も引き続き食育の活動を通して認知度向上に努める。

4 朝食の欠食の割合の評価

区分	評価区分	総括
小学5年生	C	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生においては、家庭環境の影響も大きいいため、保護者に向けた啓発等が数値向上のために必要である。 ・健康日本21安城計画にも朝食の欠食を減らす目標値を定めていることから、今後はその数値を参考に施策等を検討していく。
中学2年生	C	
20歳代男性	A	
20歳代女性	C	

5 地元の農産物を意識して購入する人の割合

区分	評価区分	総括
愛知県産を意識する人	A	<ul style="list-style-type: none"> ・安城産を意識する人についても目標値に近づいており、目標の達成を見込むことができるため、効果的に事業を行うことが出来た項目であると考えます。 ・今後も安全・安心・新鮮などの地産地消のメリットをPRする取り組みを継続して行う。
安城産を意識する人	B	